

# 月刊 女性潮流研究所

読むだけでトレンド分析力がアップする！  
女性関連ビジネス担当者のためのお仕事サポート情報誌

2019年10月25日発行  
vol.168



今月のPick Up Magazine ～雑誌数79誌+ネットメディア2件/見出し数1,532本+74本

【雑誌】 ar/up plus/姉ageha/anan/andGIRL/&Premium/&ROSY/InRed/25ans/ViVi/with/VERY/VOGUE JAPAN/VoCE/eclat/ESSE/ELLE japon/oz magazine/Oggi/大人のおしゃれ手帖/オトナMUSE/家庭画報/からだにいいこと/kiitos./CanCam/GINZA/ku:nel/CLASSY./GLITTER/CLUEL/GLOW/クロワッサン/サンキュ!/JJ/GISELe/SPUR/GINGER/Sweet/素敵なあの人/steady./STORY/SPRING/装苑/CHANTO/天然生活/nicethings/NYLON JAPAN/ナチュリラ/日経WOMAN/Número TOKYO/non-no/HERS/Harper's BAZAAR/BAILA/Hanako/美人百花/bis/美ST/美的/美的GRAND/FUDGE/FIGARO japon/婦人画報/婦人公論/PRESIDENT WOMAN/Precious/Mart/MAQUIA/Marisol/ミセス/mina/mini/MORE/LaLaBegin/LARME/LEE/Richesse/リンネル/Ray  
【ネットメディア】 BuzzFeed Kawaii/steal me!

## 2019年9月 トレンド分析カチェック問題

- Q 1 : 今年、登場したベイクドカラーってどういう意味？  
Q 2 : 今までとはガラッと変わった、イマドキのメイクのやり方の特徴は？  
Q 3 : 中年がやるべき若作りをせずにきれいになるための方法とは？  
Q 4 : 「似合う」と「似合わせ」、何が違うのでしょうか？  
Q 5 : ママたちが信用できるのは「リアルがわかる無名の人」。たとえばどんな人？  
Q 6 : 生理についてオープンに語るのがおしゃれと思われるようになった背景とは？

Q 1 : 今年、登場したベイクドカラーってどういう意味？

A : こんがり焼けた色というのと、どうやら紙や布が日焼けして退色したようなくすみ色

Q 2 : 今までとはガラッと変わった、イマドキのメイクのやり方の特徴は？

A :  
マスカラ : すなわち黒、っていうのは終了している感じがあります。リアルなところでいうと、やっぱり目力が…という話もありますが、いや、むしろその黒いべったりしたマスカラが古く見えますよ（40代）と言いたくなる。アイラインも、ブラウンとかボルドーとかネイビーとかにしてみは？という。  
陰影 : 無理やり作るから自分に合った陰影に…と言うのは簡単、実は難しい。  
チーク : チークレスから入れ方変化へ。個人的にはチークレスって無理があったなあと思ったりします。ちゃんと復活してくれと思います。あと、使いやすい、肌になじむベージュとコンビになっていたりと、などアイテムの進化もある。

Q 3 : 中年がやるべき若作りをせずにきれいになるための方法とは？

A :  
・厚塗りしない  
・毛が元気（眉とか）  
・血色をプラス  
・メイクより表情をどうにかして！  
・髪の毛大切

Q 4 : 「似合う」と「似合わせ」、何が違うのでしょうか？

A : 「似合う」は、限られたあるものの中から探す感じ、「似合わせ」は無限にある中から選んで自分用にアレンジする感じ？主体がモノなのか自分なのか、というところでしょうか。  
パーソナルカラーだ骨格診断だ顔タイプ診断だと、自分に「似合う」を探し求めるのが大流行している今日この頃ですが、「似合うものと好きなものがイコールじゃない問題」も同時に起きてきています。

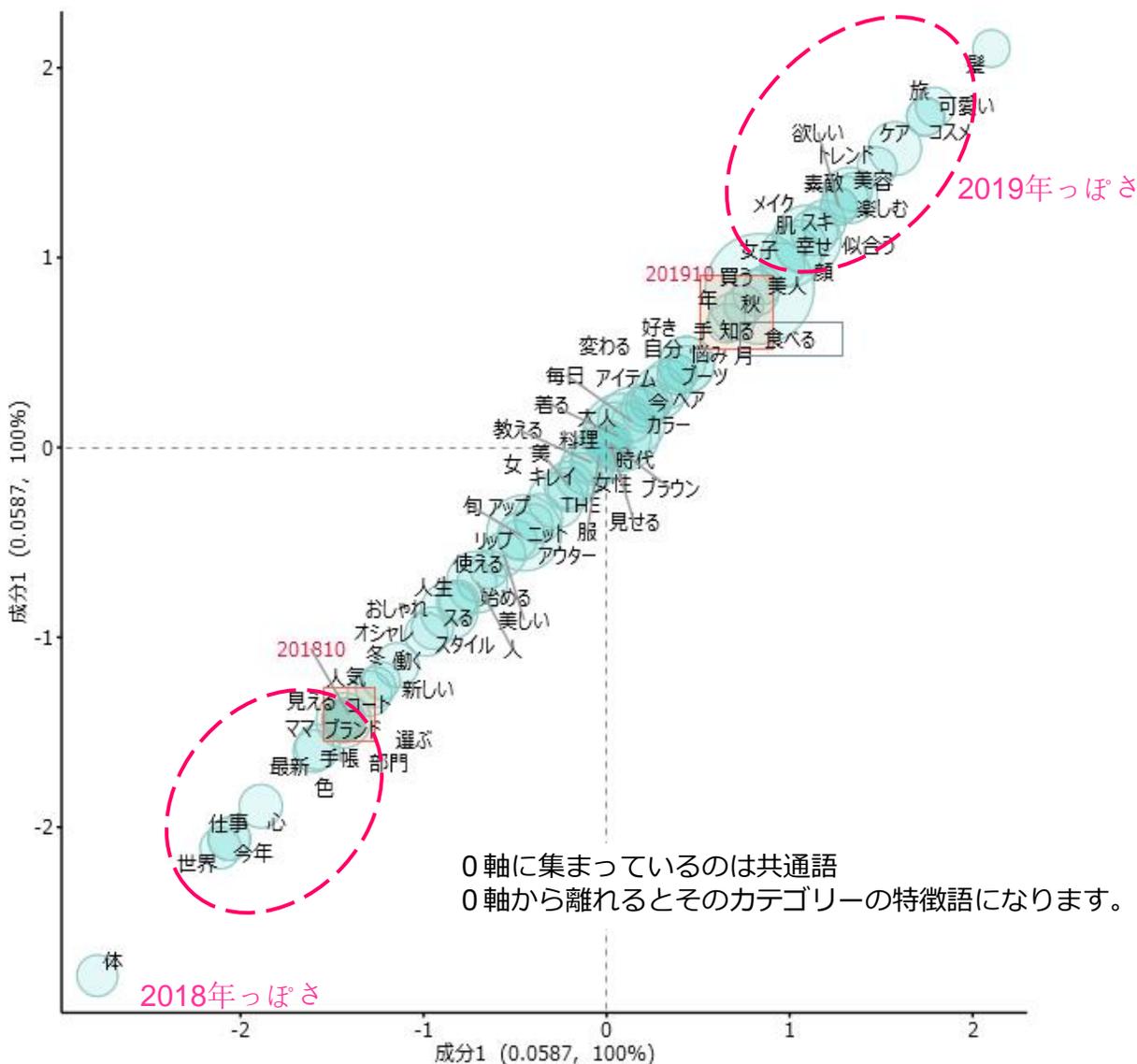
Q 5 : ママたちが信用できるのは「リアルがわかる無名のプロ」。たとえばどんな人？

A : たとえば医者ママ、美容師ママなど。出産や子供の病気など、本人も同じことで悩んだことがあるプロ。

Q 6 : 生理についてオープンに語るのがおしゃれと思われるようになった背景とは？

A : ヘルスケアネタからライフスタイルネタに変化している

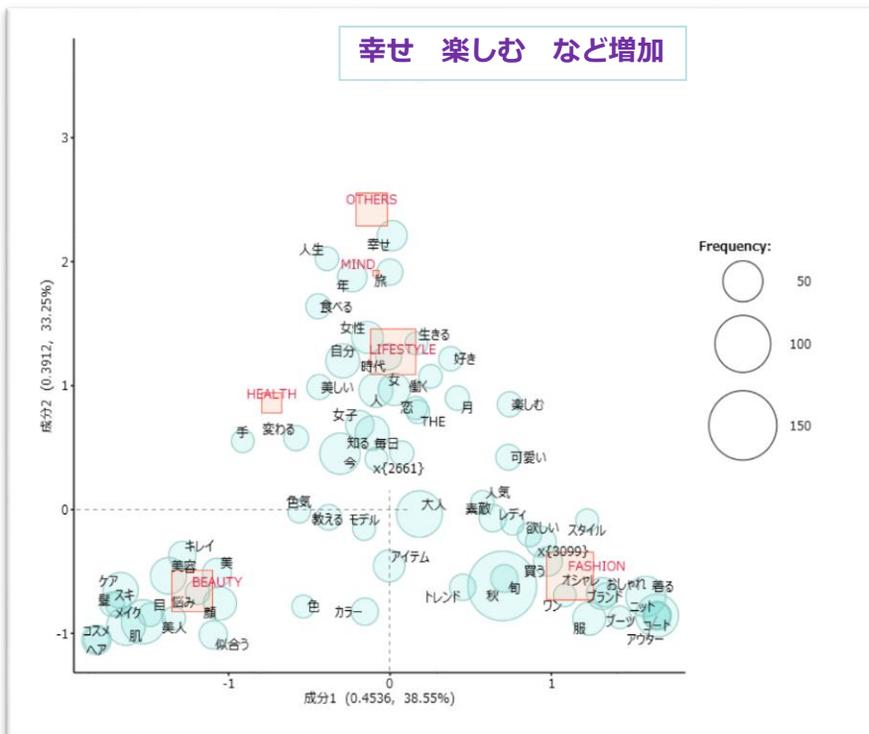
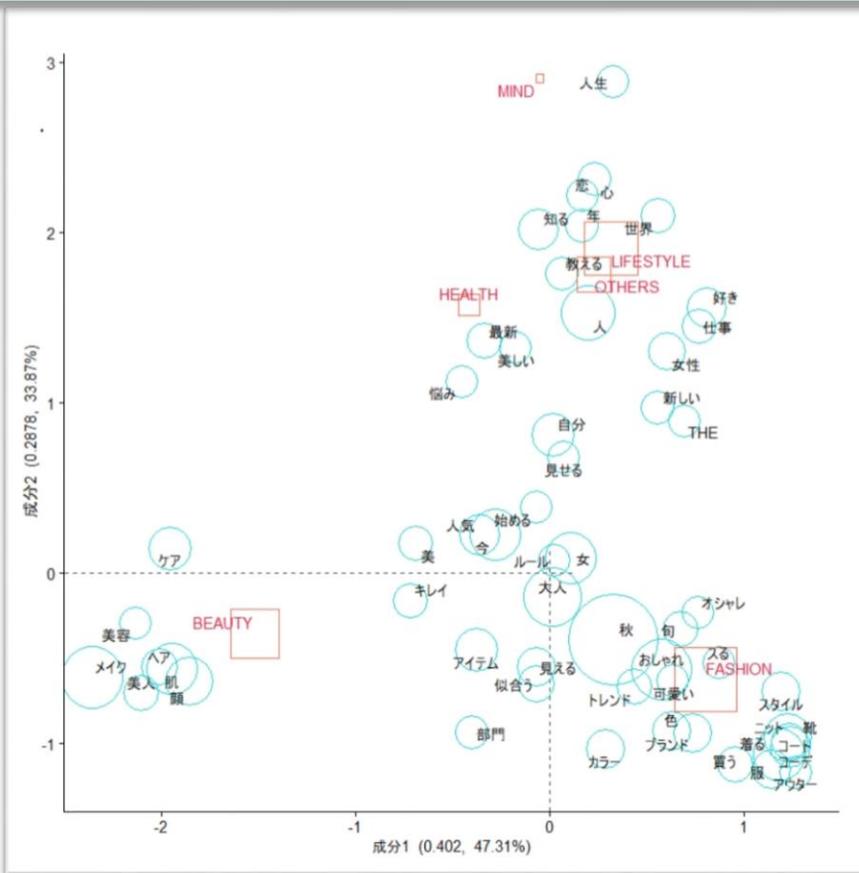
**<その1>  
 全体の特徴語の比較（上位100語） by KHcorder  
 （2019年月と2018年9月）**



**1月、2月 消費よりも自分に目が向いている**  
**3月「プロ」「似合う」と買い消費意識**  
**4月「旅」「UV」「デニム」春なのに「可愛い」が消滅**  
**5月「最新」「トレンド」「人気」「コーデ」減少**  
**6月 7月**  
**「世界」「楽しむ」「美しい」「時間」増加、「作る」「トレンド」減少**  
**8月**  
**「語る」「時代」上昇**  
**9月**  
**「目力」上昇「食べる」が健康文脈で上昇**  
**10月**  
**「幸せ」「楽しむ」上昇**

<その3>

カテゴリ別の増えた言葉、減った言葉 by KHcoder  
2018年10月(上)と2019年10月(下)比較





＜かゆいところに手が届く特別企画＞  
2016～2018年 女性誌創刊／休刊／リニューアルまとめ  
(2019.10更新)

## 2017年

創刊	&ROSY／bis／OWN／my goodies／YOLO style／ihana
休刊	Zipper／oz plus／Como
発行形態変更・リニューアル	小悪魔ageha…出版元倒産・ライセンス移譲等を経て2誌に分裂 KERA…紙媒体休刊 Soup…紙媒体休刊→ネット移行→Soup.Plus発行→Soup.再創刊→休刊

## 2018年

創刊	Milk&Honey／LOVEggg／CR FASHION BOOK／NAVYS／週刊文春WOMAN
休刊	Vikka／nina's…休刊
発行形態変更・リニューアル	bea's up…Up PLUSとしてリニューアル 装苑…月刊から隔月刊に おとなスタイル…季刊から随時刊行に FRaU…ムック&ネット移行→月刊復活 Hanako…隔週刊から月刊に Domani…隔月刊に

## 2019年

創刊	素敵なあの人
休刊	小悪魔ageha
発行形態変更・リニューアル	Zipper…1号限定の特別復刊 mer…休刊→8月復刊→ネット移行 天然生活…発行元倒産のため休刊→発行元を変え復刊

## 女性潮流研究所 今回のキーワードまとめ

### キーワード①2019秋トレンド

ワントーン、ブラウン、ベイクド

### キーワード②メイク激変 (1)若い世代編

何か一つが目立つのではない調和型メイクが今の気分

### キーワード③メイク激変 (2)中年編

「若い子用のメイク」「若く見える」は今の時代ダメ。老けた顔に合うメイクを

### キーワード④リアルインサイト

「トレンドって言い切られたくない」 & 「似合う」より「似合わせ」

### キーワード⑤餅は餅屋

信用できるのは「リアルが分かる無名の人」

### キーワード⑥像の変化

モテが変わった? 「生理」はヘルスケアからライフスタイルに

<業界別おススメ記事はこちら>

- 化粧品業界の方は、キーワード①②③④⑤⑥
- ファッション業界の方は、キーワード①④⑤⑥
- 食業界の方は、キーワード④⑤⑥
- ライフスタイル業界の方は、キーワード④⑤⑥
- すべての業界の方が要チェック キーワード④⑤⑥

## 女性潮流研究所 メンバー



H瀬女性潮流研究所 所長  
総合分析を担当



N松 女性潮流研究所 副所長  
メジャーからマイナー界まで幅広くウォッチ。



P田 女性潮流研究所 客員研究員  
ハイブランドからリアルトレンドまで網羅。女性誌エディター

# 2019年10月

## キーワード①2019秋トレンド



### 【ワントーン】

- ◆ひとりひとりが元々もっている顔立ちを生かし、ナチュラルに引き立てるテクニックで今っぽ美人に見せるのが、この秋の最旬メイク。目元や口元の立体感をさりげなく引き出したり、全体をワントーンにして自然なメリハリをつけたり… [永野芽郁×KUBOKI] [宇垣美里×木部明美] [飯豊まりえ×犬木 愛] 今どき美人がお手本！ 骨格彫り起こし「陰影メイク」(美的11月号)
- ◆とってもリアルなワントーン by 堀未央奈(ar10月号)
- ◆この秋、ブラウン系ワントーンが大人を素敵に見せてくれる！(BAILA10月号)
- ◆今季のブラウンは“ほぼ”ワントーンで着るのがいい！(BAILA10月号)
- ◆秋は「濃淡グラデ」で通勤ワントーン(BAILA10月号)
- ◆令和時代のおしゃれ配色は「ブラウンワントーン+ベイクドカラー」(BAILA10月号)
- ◆NTJな日は「セットアップ+きかせなじませ1小物」で簡単ワントーン(BAILA10月号)
- ◆[中条あやみ ぽーりんstyle] UP COMING! Autumn Colors 秋の旬カラーで作るこなれワントーン(CanCam11月号)
- ◆私たち、「新ワントーン」で行く！(eclat11月号)
- ◆ブラウンとベージュ ワントーン着こなし入門(InRed11月号)
- ◆ミラノマダムがお手本！ この秋は、「ワントーン」が最強です(Precious11月号)

### 【ブラウン】

- ◆今度こそ！「茶色って難しい」を解決(andGIRL10月号)
- ◆熟柿ブラウンとこっくりカラーの主役リップ、毎日使うベーシックな脇役リップ 似合って私を2割増しにする、運命の口紅1本は？(美ST11月号)
- ◆「ブラウンを今っぽく 使えばもっと 美人になれる」(VoCE11月号)
- ◆秋の主役。ブラウンリップのすべて(MAQUIA11月号)
- ◆ブラウンリップ、はじめどきです(MORE11月号)
- ◆大人の目元は、おなじみブラウンもキラキラっと！(Oggi11月号)
- ◆大人の“目もとカ”を復活させる品格ブラウンアイ(eclat11月号)
- ◆大人のアイメイクは「旬ブラウン」と「ひとさじホワイト」(LEE11月号)
- ◆味方につければ、最短オシャレ顔 VERY世代の“ブラウンリップ”トリセツ(VERY11月号)
- ◆ブラウンの服に映える秋メイク(InRed11月号)
- ◆この秋、ブラウン系ワントーンが大人を素敵に見せてくれる！(BAILA10月号)
- ◆今季のブラウンは“ほぼ”ワントーンで着るのがいい！(BAILA10月号)
- ◆令和時代のおしゃれ配色は「ブラウンワントーン+ベイクドカラー」(BAILA10月号)
- ◆大人気姫診断 私に似合うブラウン教えて！(BAILA10月号)
- ◆香菜子さん クラシックなブラウン(ナチュリラ11月号)

# 2019年10月

## キーワード①2019秋トレンド



- ◆この色なしには整わないから「ブラウンだから」できること(GISELe11月号)
- ◆ブラウンベースで「かっこいい私」！10月の1か月コーディネート(Oggi11月号)
- ◆注目の「ブラウン系」であかぬける(eclat11月号)
- ◆秋ブラウンに合うゴールドウォッチ(eclat11月号)
- ◆ブラウンとベージュ ワントーン着こなし入門(InRed11月号)
- ◆「ブラウン」なら1色でスタイルが決まる(大人のおしゃれ手帖11月号)

### 【ベイクド】

- ◆ベイクドカラーdeトレンド顔 by 堀田真由(ar10月号)
- ◆令和時代のおしゃれ配色は「ブラウンワントーン+ベイクドカラー」(BAILA10月号)
- ◆服もメイクも ベイクドカラー研究所(mini11月号)
- ◆芳根京子が着こなすベイクドカラー(mini11月号)
- ◆ストリートの★ベイクドカラー 着こなしルール(mini11月号)
- ◆付録パレット de ベイクドメイク10変化(mini11月号)

# 2019年10月①2019秋トレンド

ワントーン、ブラウン、ベイクド



H瀬●まずは秋口のトレンドの整理をしようかなと思います。キーワードは3つ。**ワントーン、ブラウン、ベイクド**です。

春にワントーンがトレンドになっていましたが、秋にさらにメジャー化した形ですね。やはり注目したいのは、**秋の色味が激変!**したことです。メイクはボルドーやワインはバーガンディーは皆無です。ファッションはブラックやグレーがないかな…。**とにかく店頭は茶色に見える。**



N松●ブラウン着ていればとりあえず古く感じさせないという感じ。ブラウンからベージュのワントーンコーデなんかだと、新鮮味があります。

ブラウンと言ってもレンジがめっちゃくちゃ広いし、だからこそ**誰にでも似合うブラウンがあるのがファッションとして楽しいところ**。ベースカラーとして不動の黒は、どうしても似合わない人がいるので。



P田●**黒やグレーよりも色選びに幅があるし、難しいのがブラウン**です。あと、去年秋にはウコンっぽい色が出てきてませんでした? ちょっと苦手かなと思う人が多そうな黄みよりカラーでしたよね。



N松●「似合う」という軸に対しての意識が高くなっているのでシビアですよ。ファッションで色そのものを「楽しむ」というのは久しぶりでワクワクします。



H瀬●「ブルベに合う茶色が売っているのはどこ?」みたいに、**ただの茶色じゃない探し方も**。おばさんには地雷カラーだなんてネット上の書き込みがありました。



P田●大人にとって鬼門なのはわかります。妙にほっこりしちゃったり、とにかく地味に見えちゃったり。

◆**ミラノマダムがお手本!** この秋は、「ワントーン」が最強です(Precious11月号)と言う通り「ミラノマダム」のイメージで行きたいところですが…。

とはいえ、**今のブラウンって割と華やかなブラウンが多い**ような気がしていて、ユニクロあたりでも地味問題はクリアされているのかなと思ったりはします。



N松●ブラウン以外の今年の特徴をもう一つ。こっくりカラーが秋の定番ですが、**今年はおっと薄色を合わせるイメージ**ですね。おっ、と思ったのはパープル。濃いパープルではなく、ラベンダーとか、モーっっぽい薄いパープルが、ファッションでもメイクでも出ています。寒色系に転んだ色味で、秋に流行る色ではないんですけど。でも、濃いブラウンと合わせるなら薄色の方が簡単かも知れないですね。それと、**ブルベだったり色白だったり**が若い子に多いと思うんですが、**そういう色が似合う**んですね。いかに秋って感じの濃い実りの色は、若者には重くて使いにくいのかなあ。

# 2019年10月①2019秋トレンド

ワントーン、ブラウン、ベイクド



H瀬●やたらと多い**ベイクドカラー**についてはどうでしょう？



N松●ベイクドカラー、新しいワードとして登場していて、定義はいろいろのようですが、**こんがり焼けた色**というのと、**どうやら紙や布が日焼けして退色した**ようなくすみ色も指しているような感じ（それってbakeじゃなくてfadeだけど）。



P田●リップの色がだんだん変わってきて、重め、軽めどちらにしても「赤」または赤からの派生カラーのバーガンディとかボルドーから、**少しずつ出てきていた柿色のようなオレンジからブラウンが中心になったの**を感じます。発色の鮮やかさや色の濃さ、深さというよりは黄みのあるオレンジからブラウン＝言われてみればベイクド色！という納得感ありました。



N松●**くすみ色**というのは**トレンドの一つ**になっていて、若い子に人気のキャンメイクのアイカラーパレットの新色は、くすみピンクばかりのバリエーションでした。



H瀬●ファッションと違ってメイクはブラウンだと、今っぽくない感じですよ？



P田●このところちょっと赤みのあるワントーンアイシャドウで簡単におしゃれっぽさを出すことができていたから、ともすると**地味になったり、くすんだりするブラウンは、改めてどう使うか、どう選ぶか、を考えなくてはいけない気分**かもしれません。でも、陰影をつけたり、彫り深く見せたり、メリットはたくさんあるから、グラデーションのつけ方や4色パレットの使い方とか、取り上げられることは多そうです。注意すべきはアイカラーよりリップですかね。**とにかく去年色のリップを使っているとすごく古く見えるというのが今年なの**かもしれません。赤、バーガンディ、ボルドー、コンサバ寄りだとピンクベージュ。柿っぼい色とか、ボルドーやバーガンディではないブラウンは、セルヴオークあたりのおしゃれブランドから始まって、どうなるかな？と思っていたらドンドン広がって…という印象です。NEWS23の小川キャスターが**絶妙色のリップを付けていて、オシャレモードの住民だけではなく、コンサバ寄りの人も、オレンジブラウン寄りの色を明るくしたようなカラーをつけてる**など。リップって、やっぱりわかりやすいですもんね。

# 2019年10月

## キーワード②メイク激変 (1)若者編



- ◆“ファンデは顔の中心だけ塗る”が新常識！ 今っぽセミマット肌の作り方(SPRiNG11月号)
- ◆涙袋強調、囲みシャドウ、赤みプラス…盛れてる顔はみんなコレ 下まぶたメイクがカワイイを左右する！(JJ11月号)
- ◆“チークレス”ブームは落ち着き、今季は“チークあり”が復活！ トレンドの2色は、血色を与えるだけでなく骨格を操ることができる万能カラーなんです \顔型別に指南！/「柔らかかベージュ」&「深みボルドー」、ふたつのチークでもっと“しゅっと”顔！(美的11月号)1
- ◆塗らないほうがいいんじゃないかと入れ方が変わったんです 私に似合う“今っぽチーク”の入れ方はこれ！(美ST11月号)
- ◆ぱっちり上げると今っぽくない、ナチュラルだと目力不足…そんなまつげ問題を解決するのが、この秋トレンドのカラーマスカラです！ 目の形に合わせた欲しい効果×カラーで、ちょうどいい色まつげをご提案。 NEO“ほんのりカラーまつげ”で、自分の目がもっと生きる！(美的11月号)
- ◆今季のアイシャドウは色も質感も個性豊かで華やか！ だからこそ、いざ塗ろうとすると迷いがち…。でも実は、目の形に合った選び方・入れ方さえマスターすれば、どれを使っても今どき目力はかなうんです！ [ルミナス] [スモーキーパステル] [抜け感ダーク] 目の形×3大トレンドカラーでかなえる「美人印象Eye」(美的11月号)
- ◆「次なる肌は、“がっつり彫り深”より“自然な陰影感”ってどういうこと？— 教えて、ベースメイクの天才・村松朋広さん！ 目からウロコ！ 「6割ベースメイク」で、元々骨格美人になりすます！(美的11月号)
- ◆ひとりひとりが元々もっている顔立ちを生かし、ナチュラルに引き立てるテクニックで今っぽ美人に見せるのが、この秋の最旬メイク。目元や口元の立体感をさりげなく引き出したり、全体をワントーンにして自然なメリハリをつけたり… [永野芽郁×KUBOKI] [宇垣美里×木部明美] [飯豊まりえ×犬木 愛] 今どき美人がお手本！ 骨格彫り起こし「陰影メイク」(美的11月号)

## 2019年10月②メイク激変 (1)若者編

何か一つが目立つのではない調和型メイクが今の気分



H瀬●というわけで今年の秋はメイクがガラッと変わっているので、もう少し掘り下げようと思います。先ほどは口紅やアイカラーの色味についての話だったのですが、**今年**は**メイクそのもののやり方が変わっている**んですよね。ガッツリ彫りではなく、ファンデは中心だけ、チークは入れ方が違う、マスカラバサバサはダメなど、ルールそのものがガラッと変わっています。



N松●街の女子たちを見て、**彫りが深い・深く見せるのが、似合う顔とそうでない顔がある**なあ...と書いていたんです。彫りが深いな~という顔と、彫りを深く見せるメイクをしているな~という顔はまったく違う。後者はメイクというよりお絵描きみたいな顔になっていたり...。プロのメイクなら自然な凹凸に仕上げられるのかも知れないけれど、一般人の自分メイクでは、テクニック云々以上に客観性が欠けがち。目元の平坦さを気にして眉根にノーズシャドウをガッツリ入れることで、その彫り以上に鼻が強調されて目が小さく見えてしまったり。ココが気になる、もっとこうだったら...というのを近視眼的に見てしまっということが起きるんでしょうね。



P田●**どこか一つが目立つのではない調和型メイク**がこのところの気分なんだと思います。ひとつひとつの匙加減が大切。どのパーツにも手抜きはNGだけれど、すべて100%やったらトゥーマッチ、という感じ。まあ、文章にしてしまうと、ここ数年言ってるのと同じ感もありますが、赤リップみたいなガツンとトレンドというよりは、こまごま緻密な印象。



N松●イマドキの「ほどよく調整するメイク」では、目元なら目元だけ見るのではなく、目元は鼻とも頬とも地続きだから切り離して見ないで、**全体としての足し引き調整**をするようなイメージかも。塗る面積や場所をマイナスするという**量的な変化**だけでなく、下まぶたメイクに凝ったり、マスカラをカラーにしたり、チークの色や入れ方を変える...といった**質的な変化をつけるのも、イマドキメイクの新しいところ**という気がします。



P田●アイテム個別に見ていくと、

マスカラ：すなわち黒、っていうのは終了している感じがあります。リアルなところというと、やっぱり目力が...という話もありますが、いや、むしろその黒いべったりしたマスカラが古く見えますよ（40代）と言いたくなる。アイラインも、ブラウンとかボルドーとかネイビーとかにしては？という。

陰影：無理やり作るから自分に合った陰影に...と言うのは簡単、実は難しい。

チーク：チークレスから入れ方変化へ。個人的にはチークレスって無理があったなあと思ったりしますので、ちゃんと復活してくれと思います。あと、使いやすい、肌になじむベージュとコンビになっていたり、などアイテムの進化もある。

## 2019年10月②メイク激変 (1)若者編

何か一つが目立つのではない調和型メイクが今の気分



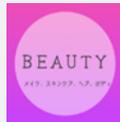
N松●陰影の作り方といえば、数年前から流行した**コントゥアリングメイク**では、**凹も凸も塗って強調していたけれど、最新のメイクは、凹は塗らずに表現+凸を明るく塗って際立たせる**、というやり方なんです。さらに、チークは血色を与えるためだけでなく、骨格メイクを担うアイテムとして使う。影までプラスで表現しようとする、それが不自然にならないよう光も盛られるから、厚くて重いベースメイクになるし、それにのせるポイントメイクもそれなりに濃くなりがち。

新しいメイクは、全部塗りつぶさない、黒で強調していたところをカラーにする、ガッツリ彫り深より自然な陰影...といった特徴ですが、**「ナチュラル」「薄い」...**という表現は使われていないんですよ。単に**工程や使うアイテムや塗る場所を「減らす」提案**ではなく、**適材適所・適量に「調整する」「強調しない」という感覚**かも知れないですね。

色について触れると、秋冬の新色としては珍しくシルバーとかラベンダーのような寒色系が出ていて、美容誌でメイクさんがこぞって使っています。それだけ見ると季節感がないようですが、**ブラウンやカーキと合わせるとひとひねり効かせた感じ**でおしゃれ。濃いこっくり色のメイクではなくても、**やはり単純にナチュラル、という感じでもなく、トータルでの調和がやはりカギになったメイク**だと思います。

# 2019年10月

## キーワード③メイク激変 (2)中年編



- ◆ [ベースメイク] [厚塗り厳禁! 「肌は7割仕上げ」が鉄則です] 流行のクッション+ブラシで「カバーしながら透明感」ほんのりはんなり色香が漂う薄塗り仕上げの“隙だらけ肌”(美的GRAND2019秋号)
- ◆ [アイメイク] 目頭に色をのせることで、目元が引き締まって目力アップ! [新発想]「寄せアイメイク」で美まなざし&艶色気10割増!(美的GRAND2019秋号)
- ◆ [リップメイク] 輪郭がぼやけて小さく薄くなったしほみ唇を10歳若返らせるコツはここにありました。(色)(艶)(光)を駆使してポリリュームアップ↑唇の厚み2割増テクでぷっくり・ぽっちゃり“色っぽ唇”(美的GRAND2019秋号)
- ◆ [眉毛&まつ毛] 若さの鍵は「眉毛、まつ毛」の存在感! 小田切ヒロ presents 顔の増毛大作戦「意志の眉」&「目力のまつ毛」で印象づける凜として艶っぽい女(美的GRAND2019秋号)
- ◆ [ヘアアレンジ] [後れ毛ハラリ] [耳かけ肌スケ] [ふんわり後頭部] 「なんだか素敵」の秘密は仕上げにやるべき“髪あしらい”(美的GRAND2019秋号)
- ◆ [すっぴん風メイク] いくつになっても素顔美こそが色っぽさの根源。ならば、美しい素顔を賢く作っちゃいましょう! 「すっぴんキレイ」が拡散する! [美容賢者発] “だましアイテム&テク”大公開(美的GRAND2019秋号)
- ◆ [表情筋矯正] 頬づえ しかめっ面 スマホの見過ぎ… 無意識にやっているその顔が、あなたをおばさんにしています 老け顔を超加速させる“顔グセ”を徹底修正! 女っぽ表情が蘇る[1日3分] 整筋メソッド(美的GRAND2019秋号)◆眉山から描いている、その常識で失敗しているかも 眉山なし時代 “似合って今っぽい”眉の正しい「太らせ方」(美ST11月号)
- ◆ 熟柿ブラウンとこっくりカラーの主演リップ、毎日使うベーシックな脇役リップ 似合って私を2割増しにする、運命の口紅1本は?(美ST11月号)
- ◆ 知ってた? 老け度=鼻の下の長さ! 人中キュッと美容(美ST11月号)
- ◆ 「次なる肌は、“がっつり彫り深”より“自然な陰影感”ってどういうこと?— 教えて、ベースメイクの天才・村松朋広さん! 目からウロコ! 「6割ベースメイク」で、元々骨格美人になります!(美的11月号)
- ◆ “色気=血色を足せば”-7歳見え”も夢じゃない! チーク&リップで若々しく、女らしく!(PRESIDENT WOMAN2019秋号)
- ◆ 似合うを見つける具体策・似合わせヘアカタログ47 気になるおでこジワを隠す前髪 目元を引き立てるレイヤー もたつてきた輪郭をカバーするカール \わがまま言うほど私らしくなる!/ さあ、似合う髪型探しの冒険へ!(美ST11月号)
- ◆ 顔のパーツの配置次第で全15種類の“似合う”がある あの骨格診断が進化 美顔バランス診断こそ究極のパーソナライズド・ヘアカット(美ST11月号)
- ◆ 「私には似合わない」そう思い込んで、綺麗になるチャンス逃してない? 見違える40代続出こんな人は、むしろショートにしなきゃ(美ST11月号)
- ◆ 薄毛もたるみもシワも…と、もっと欲張りになっていい “似合う”+老け悩みも解消! アンチエイジングHair Style早見表(美ST11月号)
- ◆ 幅と長さをコントロールしてぴったり似合わせます 美人見えする前髪、体脂肪率が教えてくれるなんて!(美ST11月号)
- ◆ 個性的なのに似合ってる髪がいつも素敵です 田丸麻紀さん 「似合う髪型探しの冒険、まだまだ続けていきます」(美ST11月号)

# 2019年10月

## キーワード③メイク激変 (2)中年編



◆服にあれこれ悩むより、美容に情熱を注ぎたい美ST読者へ これ買って！着て！ 秋は体型カバーできる「着る美容液」頼み(美ST11月号)

## 2019年10月③メイク激変(2)中年編

「若い子用のメイク」「若く見える」は今の時代ダメ。老けた顔に合うメイクを



P田●若い子にはいいけれど、中年がやるとダメ！になってしまうメイクに対して、すごく敏感な世の中です。結局中年メイクを整理すると、

- ・厚塗りしない
- ・毛が元気(眉とか)
- ・血色をプラス
- ・メイクより表情をどうにかして！
- ・髪の毛大切

と、まあ、そうですね...というところですが、色みが、おしゃれ感が、という前にNGを踏まずに生命力を足す、という方面に頑張ることでかなり変わるはず。



N松●思うに、綺麗な中年顔って、その年齢の通り、ニュートラルであることが一番のキモなんです。若くもなく年寄りでもない。派手過ぎず地味過ぎず。綺麗過ぎず汚過ぎず。自分自身、長いこと迷走を続けているのですが、「中年の小綺麗な年相応顔」を作るのって実はすごく難しいんですよね。若作りの方が、絶対的な一方向のベクトルだから簡単。

しかし、「若い」「若見え」という言葉が全然見当たらないのです。このテーマに限らず、それらの言葉を含む見出し、今月全1,500本超の中でたったのこれだけ！

◆やっぱり「手」と「首」で女は10歳若くなる！(からだにいいこと11月号)

◆肌の透明感、ハリ感、なめらかさ、黒ツヤ髪...それぞれを育む食材を積極的に摂っていつまでも若々しく！キレイな人たちの“若食べ”レシピ15(美的11月号)

◆[リップメイク]輪郭がぼやけて小さく薄くなったしほみ唇を10歳若返らせるコツはここにありました。(色)(艶)(光)を駆使してボリュームアップ↑唇の厚み2割増テクでぷっくり・ぽっさり“色っほ唇”(美的GRAND2019秋号)

◆[眉毛&まつ毛]若さの鍵は「眉毛、まつ毛」の存在感！小田切ヒロ presents 顔の増毛大作戦「意志の眉」と「目力のまつ毛」で印象づける凛として艶っぽい女(美的GRAND2019秋号)

◆色気=血色を足せば“-7歳見え”も夢じゃない！チーク&リップで若々しく、女らしく！(PRESIDENT WOMAN2019秋号)

◆オイルの摂り方を変えれば、体の中から元気になる、若返る。(クロワッサン10/10号)

若返りとか若見えはほとんど求められていないということですね。もちろんベースには常にある願望なんだけど、それ以上にまずは老け見えしないとか自然であるとかが重視されている様子。

## 2019年10月③メイク激変(2)中年編

「若い子用のメイク」「若く見える」は今の時代ダメ。老けた顔に合うメイクを



P田●あとは、マスカラの話と同様、古いものを使っていると古い顔になる。同じブラウンでも今年のを、ファンデーションこそ新しいものを、というあたりも言っておきたい。でもそれが面倒だな...となるのが中年っていうものだったりします。



N松●そんな中印象深かったのが、こちらの見出し。

- ◆くすみ肌のままで輝くための「メイク大研究」(STORY11月号)
- ◆神崎恵さんの「キレイな母ちゃん」の作り方(ESSE11月号)

どちらも「今の自分」の範疇で輝くことを目標としています。くすみを完璧にカバーしようとしたり、キレイなお姉さんを目指すことはしないのです。頑張りすぎはイタイ、という気分ではあるけれど、かといって頑張らないとズルズル老けていくのも中年の現実。頑張り過ぎず、サボり過ぎず...とここでもまたニュートラルなほどよい努力が必要で、そのさじ加減を知りたいというニーズに、この2つの見出しのような目標設定はものすごく「ちょうどいい」気がしました。

# 2019年10月

## キーワード④リアルインサイト



- ◆甘すぎるのはイヤだけど“可愛い”は捨てたくない！「27歳なりの可愛い」に更新してみよう！(with11月号)
- ◆アスレジャーなんてハードル上げず、スマートに取り入れたいだけ ノース、パタ、エミで普段着上手な私になる！(VERY11月号)
- ◆あか抜けフェミニンに必要なトレンド10(BAILA10月号)
- ◆ヘア&メイク小田切ヒロさんがレクチャー！ ミレニアル世代の「やさしい色気」顔の作り方♡(CanCam11月号)
- ◆インフルエンサーたちは、メイクの仕込みで“やさしい色気”を作っていた！ 真似したい♡二度見女子の“やさしい色気”メイク論(CanCam11月号)
- ◆大人っぽくてかわいらしい、まるやかな雰囲気的女性って気になっちゃう。何に惹かれてしまうの？ 色っぽってどういうこと？ 無理せず女っぽいのがいい♡ 今欲しいのは、やさしい色気(CanCam11月号)
- ◆ここ最近アラサーの服選びは、ときめきよりも「使えるかどうか」が最優先事項。無駄な服を増やさないためにも、買い物前に必読 もう、役に立つ服しか欲しくない！(andGIRL10月号)
- ◆乳幼児ママのためのカットソーでここから半年乗り切り計画(VERY11月号)
- ◆肉のつきづらい華奢な骨を見せて、細見えを叶える 着やせの決定打は骨見せでした！(InRed11月号)
- ◆似合うを見つける具体策・似合わせヘアカタログ47 気になるおでこジワを隠す前髪 目元を引き立てるレイヤー もたついてきた輪郭をカバーするカール \わがまま言うほど私らしくなる！/ さあ、似合う髪型探しの冒険へ！(美ST11月号)
- ◆クセ毛・ゴワつき・ペタンコ 何十年来の髪悩みも彼らの手にかかれば簡単 レジェンドヘアさんだけがもつ「似合わせ」の魔法を知ろう！(美ST11月号)
- ◆時代に寄せて自分に似合わせてる、髪美人の具体策にヒントいっぱい SNAP「今っぽい！しかも似合ってる！」 そのあなた、どこのサロンでなにしてるの？(美ST11月号)
- ◆気づかなかった魅力を引き出してくれると評判 bloc山本式似合わせメソッドで、自分史上一番のヘア！(美ST11月号)
- ◆一重&奥二重の最旬 似合わせアイメイク(non-no11月号)

## 2019年10月④リアルインサイト

「トレンドって言い切られたくない」 & 「似合う」より「似合わせ」



H瀬●◆大人っぽくてかわいらしい、まろやかな雰囲気的女性って気になっちゃう。何に惹かれてしまうの？ 色っぽってどういうこと？ 無理せず女っぽいのがいい♡ 今欲しいのは、やさしい色気(CanCam11月号)

◆甘すぎるのはイヤだけど“可愛い”は捨てたくない！「27歳なりの可愛い」に更新してみよう！(with11月号)

「やさしい色気」「27歳なりのかわいい」が、新しいなと思いました。



P田●「言い切らないちょうどよさ探し」みたいな雰囲気。



N松●例えば甘めのファッションでいうと、「ちょうどいい」よりmoreに振れると甘すぎ・ぶりっ子・若作りになるし、lessでは特長が出ず中途半端でダサい。とにかく「ちょうどいい塩梅」を知っていなければ。

ハッ…とさせられたのは、◆アスレジャーなんてハードル上げず、スマートに取り入れただけ ノース、パタ、エミで普段着上手な私になる！(VERY11月号)。

ファッション業界・メディア業界が、売るために作るキャッチコピーや新語の類。この場合「アスレジャー」なのですが、それが着る側にとって高いハードルになっている可能性について、今まで考えたことがなかったかも知れません。



P田●ノームコア、エフォートレス、アスレジャー、みたいに言い切れちゃうと難しいんですよね。っていうところ。



N松●そうそう。この見出しだと「ノースフェイス、パタゴニア、エミといったアウトドアブランドやヨガウェアブランドの服を素敵だなと思い、それをいちアイテムとして着る『オシャレ』がしたいだけなのに、『アスレジャーの人』『流行のファッションを着ている人』というタグが自分につけられるのがちょっと…」というインサイトをすくい取っている。

ファッションで自らの属性を表現したり、コミュニケーションのフックにしたり、コスプレっぽい服の着方を面白いなと感じていたのですが、それとはまったく逆に、ファッションに意味を持たせない着方をしたい層もいるのだなと。

記号に頼らない、というかあえて記号から切り離されたいというのは、オシャレじゃないわけではなく難しいのだけれど、すごくリアルだなあとも思います。



H瀬●「おしゃれになりたかったら、トレンドは買わない。誰も教えてくれなかった脱おしゃれ迷子のルール56」なんていうタイトルの本を見つけました。「トレンドイコールおしゃれではない」というモードが今の時代にあるのでしょうか。実際に女性潮流研究所のデータでも「トレンド」「流行」のワードが激減しています。

# 2019年10月④リアルインサイト

「トレンドって言い切られたくない」 & 「似合う」より「似合わせ」



H瀬●では次に何が求められているのか？ということで注目したのが、「似合う」ではなく「似合わせ」というワードが出てきたこと。

◆一重&奥二重の最旬 似合わせアイメイク(non-no11月号)

◆時代に寄せて自分に似合わせてる、髪美人の具体策にヒントいっぱい SNAP「今っぽい！しかも似合ってる！」 そのあなた、どこのサロンでなにしてるの？(美ST11月号)

今までこんな言葉見たことないです。しかも美STとnon-noという全くターゲットが違うメディアで同時に登場している。数は少ないけど。これは今年っぽい現象だと思うんです。



N松●「似合う」と「似合わせ」、何が違うんでしょう？「似合う」は、限られたあるものの中から探す感じ、「似合わせ」は無限にある中から選んで自分用にアレンジする感じ？主体がモノなのか自分なのか、というところでしょうか。

パーソナルカラーだ骨格診断だ顔タイプ診断だと、自分に「似合う」を探し求めるのが大流行している今日この頃ですが、「似合うものと好きなものがイコールじゃない問題」も同時に起きてきています。自分に似合うのは何かを知って、魅力的に見せたり無駄な買い物を減らしたりという実質的なメリットを得たり、客観的な物差しや意見によって「自分を知りたい」欲を満たすことはできる一方で、自分の好みは徹底的に置いていかれるのがこうした診断。なんなら、好みに従って選ぶということを否定する側面もある。「似合わせ」という概念って、こうした診断系ブームへの反発もあるのかなぁと思います。



H瀬●知ってしまったからには、「似合うもの」より「好きなもの」がいちばんですよね・・・なんていう時代には戻れない。だからこそ「好きなものを似合わせる」という新たなルートが開拓されはじめたのではないかと思います。

# 2019年10月

## キーワード⑤餅は餅屋



- ◆仕事、婚活、彼ママ……女子アナコーデ&メイクを真似っこして、最強好感度を手に入れて！  
向かうところ敵なし「女子アナ感」の作り方(andGIRL10月号)
- ◆ママドクターがやっている いちばんシンプルな感染症予防(CHANTO11月号)
- ◆オフィスの所作はCAさんから学びましょう♡(美人百花10月号)
- ◆弘中アナと考える半径3メートルのOL革命(with11月号)
- ◆男性ヘアさん発「男子メセンHAIR」は結果、全方位ウケで大人可愛い！(STORY11月号)
- ◆ママ美容師に聞いた！ 透け毛・アホ毛・パサつき 産後のおつかれ髪は“モードなカラー”で目くらし(VERY11月号)
- ◆脳内のイケてる私に近づける 加工アプリ級メイク(MAQUIA11月号)

# 2019年10月⑤餅は餅屋

信用できるのは「リアルがわかる無名の人」



H瀬●身近なプロの意見が参考になる、という話。無名な人でも、リアルがわかる人がいいですよ。



N松●先生や講師といった「教えるプロ」ではなくて、「職業のプロ」なのがリアル。要は、現場で得たサンプルが血肉になっている人。さらに、その人自身も困りごとの当事者だったりすると、よりリアルな説得力があります。



P田●◆ママドクターがやっている いちばんシンプルな感染症予防(CHANTO11月号)「ママドクター」っていうのが本当にそうだなと思いました。ただのプロだったら役に立たなくて、ドクターに聞く、じゃなくてママドクター、ママの事情も分かるドクターに聞きたい、というところですよ。逆に言うと、単なるプロじゃなくて、ある条件をクリアしたプロ、とすることでよりピンポイントな、欲しい情報が得られるというイメージ。



N松●同じように、◆ママ美容師に聞いた！ 透け毛・アホ毛・パサつき 産後のおつかれ髪は“モードなカラー”で目くらし(VERY11月号)もピンポイントですよ。悩みや困りごとについて、その立場になってみないと分からないことというのは多々ありますが、出産や育児に関することはその最たるものではないかと思います。子供の存在感とかお祝いムードが大きすぎて、また育児そのものの大変さ・忙しさがひどすぎて、産後のママのお疲れ髪なんて本人も後回しにしがちだし、世の中にも全然知られてませんよね。女性ホルモンがどうこうで、しばらくしたら元に戻るから、まずは栄養バランスの良い食事や生活に心がけましょう…というのが恐らく保健師や育児雑誌の回答。その「しばらく」の間のお疲れ髪をモードなカラーで目くらししましょう、というのはママ美容師ならではのリアルな提案だなあと感心しました。薄毛とか抜け毛じゃなくて、透け毛・アホ毛というワードもリアルなんですよ。企画としてはスキマ系かも知れませんが、スキマであればあるほどリアルさが大切なのかも知れません。



P田●あと、女子アナ感の作り方っていう企画があるのですが、いわゆる女子アナ感って今何なんだろうなと思ったりしました。水トちゃんとか、弘中アナとか、いわゆる女子アナキャラじゃない人が目立ったりしてますし…(時代が変わってんだか変わってないんだかわからなくなる時がある昨今です)。



N松●◆弘中アナと考える半径3メートルのOL革命(with11月号)とか、女子アナならではの好感度ファッションやヘアメイクなどのテーマではなくて、一人のOLとして取り上げています。



H瀬●女子アナのポジションは、プロOLで身近なんですよ。憧れではなく。

## 2019年10月⑤餅は餅屋

信用できるのは「リアルがわかる無名の人」



N松●タレントのように華やかに見られつつ、仕事も、上司や同僚との人間関係も、読者のOLと同じように苦勞や努力があるという扱いですよね。



H瀬●ところで、「自分の顔のプロは自分」と言わんばかりのこの見出し、すごいと思いませんか？

◆[脳内のイケてる私に近づける 加工アプリ級メイク\(MAQUIA11月号\)](#)

石原さとみ顔よりも、脳内のイケてる自分を目指したほうが話は早い。



P田●いやもうホントそれ、って感じがします。加工アプリを入れたカメラで自撮りした自分を見慣れていると、もはやカメラマンが撮った自分に耐えられないという読者が多くいます（素人の人の撮影すると、いや、こんなはずじゃない、って画像を加工してきたり、逆にこの自撮り写真使ってください、ってアプリで加工された画像を送ってきたりして困ります）。

まあ、鏡で見ている、人間の目と脳は都合良いように画像補正かけていますから、客観的に見た時にもそのレベルになれば理想的。でも、もはや人は客観的な目線とかは捨て去って、加工アプリのカメラの中に生きることを選んだのか？と思っていたので、ある意味メイクで補正して、リアルに生きるのかというのは意外なくらいです。



N松●女優や女性タレントで、最近特に人気が上がっている人と言われても名前が挙がらなくないですか？美容やファッションを真似してみたくなるような新顔がないんですよ！石原さとみ、綾瀬はるか、北川景子などは、紅白に何十回も出場している歌手のような「定位置感」で新鮮味はないし、広瀬すずや橋本環奈は元が美人すぎて観賞用という感じ。乃木坂あたりも見慣れてしまったし、若手女優は高校生役ができるすっぴん清純派のような子（清原果耶とか）ばかり。自然で小綺麗な身だしなみ的なメイクばかりで、「○○○ちゃん風」のようにメイクを楽しむような企画が減っているのはちょっとつまらなく感じていたんですが…。



H瀬●「○○○ちゃん風」が減ったのは、まさに加工アプリのせいかもしれませんね！

# 2019年10月

## キーワード⑥像の変化



- ◆ちやほやオンナになりたいのッ by 高橋ひかる(ar10月号)
- ◆好きバレヘアにしてみない?(ar10月号)
- ◆雌ガールはモテ服しか着ません宣言!! by 森絵梨佳(ar10月号)
- ◆気になるアノ人のためだけの #彼女感ヘアアレンジ(Ray11月号)
- ◆本当の意味でモテるメイク研究。(Ray11月号)
- ◆新モテる女研究 「7:3の法則」くらいがちょうどいい(Ray11月号)
- ◆大勢orサシ飲みのごっそりモテAtoZ(Ray11月号)
- ◆実は、こっくり色対ほわ色は7対3がモテるといふ真実。(Ray11月号)
- ◆番外編 そのヒミツ、知りたくない? だからあのコはモテるんだ(Ray11月号)
- ◆3分でモテる! みんなの“メイクの小技&コスメ知恵袋”(CLASSY.11月号)
- ◆今、実はニットスカートが一番モテる説(CLASSY.11月号)
- ◆誰もが認める業界イチのモテ女が本音で語ります [R40指定] 神崎恵流 独断と偏見の「大人色気論」(美的GRAND2019秋号)
- ◆人生100年時代の「ホルモン補充療法」 “攻め”の更年期(家庭画報11月号)
- ◆Marisolヘルス部/上手につきあいたい、生理とPMSの話(Marisol11月号)
- ◆「生理が恥ずかしいこと」だって、子供に教えたくない(VERY11月号)
- ◆働くママの生理とのつきあい方(CHANTO11月号)
- ◆お胸様と幸せになる女性ホルモンとのつきあい方。(anan9/18号)
- ◆すべてのカギを握る存在、“女性ホルモン”の基礎知識。(クロワッサン10/10号)
- ◆まずはきちんと知ることから! 更年期を前向きに乗り越えよう。(クロワッサン10/10号)
- ◆60代からの女性ホルモン学(素敵なあの人11月号)
- ◆知っておきたい、生理のアレコレ(ViVi11月号)
- ◆生理について語るときがきた(SPUR11月号)
- ◆妊娠適齢期のアラサーに告ぐ! 月の不調を解決! 読む子宮メンテナンス(GINGER11月号)
- ◆[女性外来] 飲む、塗る、照射する…更年期48歳グラコさんが体験 「ずっと女でいるため」の婦人科&女性医療(美的GRAND2019秋号)
- ◆[美フード] 美のキー成分・イソフラボンを根こそぎ味方につけるのは大豆食品と〇〇の、意外なかけ合わせだった! 艶肌、美髪、熟ボディに即直結! 女っぽさがあふれ出る 女性ホルモン増強レシピ(美的GRAND2019秋号)
- ◆知っておきたい、生理のアレコレ(ViVi11月号)
- ◆生理について語るときがきた(SPUR11月号)
- ◆Marisolヘルス部/上手につきあいたい、生理とPMSの話(Marisol11月号)
- ◆「生理が恥ずかしいこと」だって、子供に教えたくない(VERY11月号)
- ◆働くママの生理とのつきあい方(CHANTO11月号)

## 2019年10月⑥像の変化

モテが変わった？ 「生理」はヘルスケアからライフスタイルに



H瀬●生々しい感じのモテ見出しを抽出してみました。



P田●雌ガール、好きバレ、ちやほやオンナ…。世の中ではちょっとしたことでフェミ的な文脈の炎上をしたりするのに、ある意味平和ですね。



N松●見出しを見ると、20代から40代まで、幅広い世代にモテを志向している層がいる模様。若者の間での流行とかではなく、世代を問わずそういう人種が一定数いる、という感じでしょうか。



P田●変わらずモテは一つのコンテンツなんだなあと思います。



N松●先月号で取り上げましたが、「疑似キュン市場」のコンテンツでドキドキやムラムラを消費できてしまうので、女性もリアルでは草食化しています。



H瀬●そうなんですよ。アイドルとか声優のファンでも、「リア恋枠」というのがあって、リアルな男性のように恋する人もいる。全然知らない人から見たらカッコいいとはとても思えないような人にファンがついていたりするんですが、カッコよすぎないからこそリアルに恋をしてしまうというカラクリが…。



N松●そういう人が「推しのコンサート用」など、その世界の外からは不毛に見えるようなおしゃれや美容や買い物に勤んでいる。  
そんな時代にリアルな男性に向けたリアルなモテ戦略は、それだけで生々しいですよ（笑）。



H瀬●◆大勢orサシ飲みのこっそりモテAtoZ(Ray11月号)  
たとえばこういうのは、昔ならよくあったフレーズだけど、現代では生々しい(笑)。



N松●面白いなと思ったのは、モテでどうなりたい（愛されたいとか結婚につなげたいとか）という計画性や打算が見られず、とりあえずorとにかくモテること自体が目的・目標になっていること。モテるといのが、一周回って新鮮な志向として「体験したいこと」になっているように思えます。  
それに付随して思ったのは、SNSでもらう「いいね」がバーチャルモテであるとして、その延長のオフ会的に生身の人間の「いいね」=リアルモテを求めているのかなあと。SNSの「いいね」って、承認欲求が満たされる以外に実質的な何かを得るわけじゃなく、それをもらうこと自体がゴールじゃないですか？今これらを見出しに見られるモテも、モテるとい体験自体がゴールであって、ひと昔前の肉食系のモテ志向とは違うような気がします。

# 2019年10月⑥像の変化

モチが変わった？ 「生理」はヘルスケアからライフスタイルに



H瀬●今年はファンタジーというリアルですよ。 「女性だからって我慢しない」という話がすごく多くなった。



N松●先月の「イマドキ女性図鑑」でも取り上げた「#KuToo」運動にしろ生理にしろ、「しんどい」というリアルな声は女性自身が上げるしかないし、そうしないと男性は差別云々以前に知らない・分からないんですよ。



H瀬●生理についてオープンに語るのがおしゃれ的な動きがある。こんなにも生理という文字が見出しに踊るようになるとは。「生理について語るのがおしゃれ」という動き、すごいきていますよね。

●SPURがナプキンを配るキャンペーン

[https://www.huffingtonpost.jp/entry/spur\\_jp\\_5d97052de4b0f5bf79727618](https://www.huffingtonpost.jp/entry/spur_jp_5d97052de4b0f5bf79727618)

●ウェブマガジンSheis

<https://sheishere.jp/about/>

●生理用品のセレクトショップ

<https://www.fashionsnap.com/article/2019-05-31/illuminate-debut/>

<https://illuminate-pjt.com/>

●漫画、映画「生理ちゃん」も話題

●隠さなくていい生理用品（大手ユニ・チャームも）

#NoBagForMe <https://note.mu/nobagforme>

●生理用品の多様化

ムーンカップ、履くタイプの生理用品、布ナプキンなど

ザックリこのあたりでしょうか？



N松●あと、インド映画の「パッドマン」に関連して、スーパーモデルのナタリアがナプキンを持って微笑む写真をインスタに載せて話題になりました。多分布ナプキンも元々はそういう感じだったと思うんですが、なぜかエセ医療っぽさとかスピリチュアルを帯びてきて、変な感じになっちゃいましたね…。

ちょっと前から生理がオープンなテーマになってきた感があって、自分の中では「ムーンカップ」の存在がそう感じるきっかけだったような。2年ぐらい前に、かなり外国人っぽい帰国子女の友人がSNSでムーンカップの良さを力説していて、それに対するコメント欄も質疑応答で盛り上がっていたんです。



P田●今回取り上げた見出しには、そういう今の気分に加えて、もっと生理を知ろう、PMSを知ろう、それをオープンに話せる社会に！みたいな感じ（PMSについては、オーガニックなコスメキッチン的なジャンルでいろいろと対応策が増えているから、紹介のしがいがあるところ）。

ネットだとさらに、PMSも生理もつらいんだよ、会社も男性も知ってくれよ理解してくれよ、みたいなムードも。

## 2019年10月⑥像の変化

モテが変わった？ 「生理」はヘルスケアからライフスタイルに



N松●生理を、自分ゴトから女子みんなゴトへ、女子ゴトから男子含めたみんなゴトにしようという動き、厄介なものだからこそおしゃれ感覚をもって仕掛けられると、世間の関心も、女子当人の意識も高まりそう。



P田●モード寄りのところ、おしゃれ業界寄りのところでこの動きがあるのが面白いし、すぐく今どきだなと思います。



N松●シモの話あるいはヘルスケアネタでもなく、これってライフスタイルネタですね。各論はプライベートでも、総論としてはライフスタイルネタとして語れるんですね。女性なら誰にでも関係ある話だから。



H瀬●生理がヘルスケアじゃなくてライフスタイルの分野に変わっていている…。それすごく理解できる！



N松●生理ってそもそも生活や行動に制限を生じさせたり、ライフスタイルに大きく影響するものなので、むしろ当たり前QOL向上視点で選ばれるべきなんだけど、日本ではタブーの領域に押し込まれていたり、いい大人なのに保健体育の延長でしか語られない（しかも密かに）。太古の昔からずっと女性が付き合ってきているのに、すごい医療技術もある時代なのに、いまだにしんどいって逆に生理すごい（笑）。痛み止めやピルの活用で身体的なしんどさは若干マシになっているかも知れないけれど、社会的なしんどさは大昔よりむしろ増していると思う。でも逆に、ヒトの身体の仕組みはそうそう変わらなくても、社会的な仕組みや人の理解といったものは変わる余地があるのだから、そこをどうにかしようよという動きは、影響力を持つ人にどんどん起こしてもらいたいなと思います。